

わかりにくい相談、わかりやすい相談

あるメーカーの製造現場の事例です。自動選別機の調子がよくありません。担当の渡辺君は、係長に相談に行きました。

●わかりにくい相談

渡辺君「係長。あのう、選別機のことでご相談が……」

係長「どうした？」

渡辺君「最近、選別機がしょっちゅう止まって仕事になりません」

係長「それで、君はどこが悪いと思うんだ？」

渡辺君「わかりませんが、とにかくよく止まります」

係長「いつからだ？」

渡辺君「さあ……たぶん、この間、商品の品番が変わったころからだと思うんですが……」

係長「何か気づいた点は？」

渡辺君「そんなの、わかりません」

係長「……（困る係長）」

●わかりやすい相談

渡辺君「係長。ご相談したいことがあるんですが、今よろしいでしょうか？」

係長「いいよ。どうした？」

渡辺君「選別機の2号機の調子をみていただけませんか？ 2日前の午後3時頃から時々止まります。品番が変わった頃からです」

係長「何か、気づいた点は？」

渡辺君「その頃から、稼動中に変な音がすることがあります」

係長「音？ 今まで、どうしていたんだ？」

渡辺君「停止するたびに、スイッチを押して動かしています。予定の数量は生産できていますし、今のところ不良は出ていませんが……」

係長「そうか。これから現場で機械をチェックしてみよう」

渡辺君「お願いします」

係長「相談してくれてありがとう。今後は何か気づいたら、少しでも早く報告・相談してくれると助かるよ」

渡辺君「はい、わかりました」

●さて、みなさんは、わかりやすい相談のポイントはどこにあると思いますか？